

**YKK AP住宅省エネ性能計算ソフト
操作マニュアル
【外皮性能 標準計算】
Ver.3対応版**



改定履歴

日付	内容
2020/10/30	初回版配信
2021/04/02	名称変更：YKK AP外皮性能計算ソフト（WEB版）⇒YKK AP住宅省エネ性能計算ソフト
2021/12/03	変更ページ P3：注意 既定のアプリの設定方法、P4：4 キャッシュのクリアの方法 P5：窓の上限数変更、P24：ドア編集画面についてドア面積の注意書き追加
2022/03/31	変更ページ 表紙：Ver.3対応版、P3：使用推奨環境、土間床等の外周部、 P5、P6：Ver.3対応についての注意点、、P7：入力の有無 P10：削除ボタンの変更、ボタンの説明、P12：地域区分の入力、P18：熱抵抗低減 P19：直接入力の追加、P33：計算結果確認画面の更新
2022/06/03	変更ページ P22：夏期の日射熱取得率
2023/03/23	変更ページ P34：計算（6）－計算結果確認（壁等熱貫流率の計算結果）
2023/05/17	変更ページ P14：物件編集画面（3）－屋根・天井、外壁、床 （熱貫流率小数点以下3桁表示） P15：物件編集画面（4）－外壁、P16：物件編集画面（5）－基礎壁 （計算結果画面の更新） P33：計算（5）－計算結果確認（線熱貫流率小数点以下3桁表示）
2023/05/30	変更ページ P5：エネルギー消費性能計算プログラム(住宅版)Ver.3への対応についての注意事項 P6：2022年3月31日以前に作成した物件を使用する場合の注意点（外壁の表追加） P6、P14、P17、P18、P34：壁⇒外壁 名称変更 P11、P12、P14～P16：土間床等面積、外皮面積(窓・ドア含む)の説明書きの変更 P17：物件編集画面（6）－屋根・天井、外壁、床の詳細入力画面① （直接入力の説明書き変更） P.26：物件編集画面（15）－ドア編集画面①（方位の説明書き変更）
2023/05/31	変更ページ P.14：物件編集画面（3）－屋根・天井、外壁、床 外皮面積(窓・ドア含む)の説明書き変更

改定履歴

日付	内容
2024/04/30	変更ページ p34：計算（4）－計算結果確認（方位ごとの詳細計算結果） p35：計算（5）－計算結果確認（基礎の詳細計算結果）⇒単位を建研技術情報の表記に統一 p37：帳票作成－ダウンロード画面⇒帳票ダウンロード画面の文言追加、開口区分「窓」となる 「袖及び 欄間付きドア等」文言追加 p38-40：帳票－窓・ドアに関する付属資料①-③⇒窓・ドアに関する付属資料の説明を追加

はじめに

YKK AP住宅省エネ性能計算ソフトは、平成28年省エネルギー基準に準拠した住宅の省エネ性能の計算プログラムです。帳票はそのまま申請に利用できます。

使用推奨環境

OS	Windows10、Windows11
ブラウザ	Google Chrome最新版
CPU・メモリ容量・通信環境・画面の解像度	上記ブラウザが動作する環境

※ご利用にあたっての注意事項は、<https://www.ykkap.co.jp/pro/gaihiweb/start.html> にあります。

注意

本ソフトで一次エネルギー消費量を計算する場合は、ブラウザの[既定のアプリ]をGoogle Chromeにする必要があります。下記の方法で設定することができます。

① パソコンの[スタートメニュー] (画面左下)をクリックし、[設定]⇒[アプリ]⇒[既定のアプリ]を選択します。

② [Web ブラウザー] で、現在表示されているブラウザーを選択してから、[Google Chrome]を選択します。

※ Google Chrome をパソコンにインストールしていない場合は、まず [Google Chrome]をダウンロードしてインストールしてください。

計算方法

項目	計算方法	根拠資料
一般部位の熱貫流率	簡略計算法を用いて計算	エネルギー消費性能の算定方法※ 第三章 暖冷房負荷と外皮性能 第三節 熱貫流率及び線熱貫流率
土間床等の外周部	従前の評価法 土間床等の外周部の熱損失及び基礎壁の熱損失を一体として評価する方法	エネルギー消費性能の算定方法※ 第三章 暖冷房負荷と外皮性能 第三節 熱貫流率及び線熱貫流率 付録D
窓の日射熱取得率	開口部iの暖房期の取得日射熱補正係数 $f_{h,i} = 0.51$ 開口部iの冷房期の取得日射熱補正係数 $f_{c,i} = 0.93$ として計算	エネルギー消費性能の算定方法※ 第三章 暖冷房負荷と外皮性能 第四節 日射熱取得率

※国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」

注意事項

1. 長時間、画面を操作しないと自動的にログアウトした状態になります保存していない情報は失われますのでご注意ください
2. 物件編集画面では、こまめに保存することを心がけてください
3. 確定ボタンを押さないと確定しません

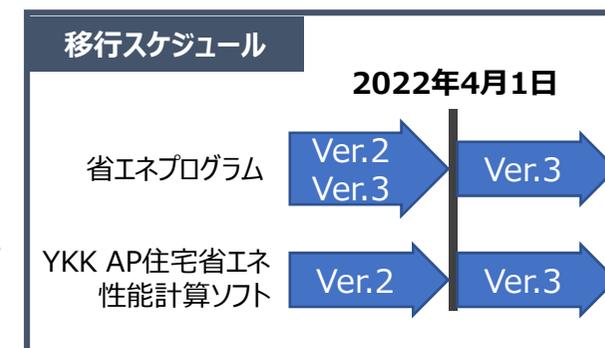
The screenshot shows the '標準計算' (Standard Calculation) screen of the 'YKK AP住宅省エネ性能計算ソフト'. The top navigation bar includes 'お問い合わせ', '物件一覧', 'ユーザ情報', and 'ログアウト'. Below the navigation bar are tabs for '物件概要', '屋根天井', '外壁', '床', '基礎', '窓', and 'ドア', along with a '計算' button. A '保存' (Save) button is highlighted with a red box, and a red callout box with the text 'こまめに押してください' (Please save frequently) points to it. Below the navigation bar, there is a form with a '物件名' (Property Name) field and a '必須' (Required) label. The bottom part of the screenshot shows the '住宅外皮性能計算プログラム' (Residential Exterior Performance Calculation Program) screen with a '方位' (Orientation) field and buttons for '南', '西', '北', '東', and '上面'. A '確定' (Confirm) button is highlighted with a red box, and a red callout box with the text '必ず確定ボタンを押します' (Please always press the confirm button) points to it.

4. 本ソフトのバージョンアップ等のシステム更新後に、画面の表示がずれる場合があります。その際には、**入力データを保存**し、「ctrl」キーと「F5」キーを同時に押して、ブラウザのキャッシュをクリアしてください。

エネルギー消費性能計算プログラム(住宅版)Ver.3への対応についての注意事項

エネルギー消費性能計算プログラム(以下、省エネプログラム)は、2021年4月1日～2022年3月31日においてVer.2とVer.3の両方が使用できましたが、**2022年4月1日以降は、省エネプログラムVer.3に完全移行します。**

そのため、【YKK AP住宅省エネ性能計算ソフト】もVer.3対応版に更新いたします。更新にともない、【YKK AP住宅省エネ性能計算ソフト】を使用する際の注意事項がありますので、ご確認くださいませようお願いいたします。



①新規物件作成方法

- 2022年4月1日以降に作成した物件は、自動的にVer.3対応になります。

②2022年3月31日までに作成済み・作成中の物件(Ver.2系)について

- 2022年4月1日以降は、Ver.2での外皮性能計算、一次エネルギー消費量計算を実行することが出来なくなります。
- 申請が2022年4月1日以降となる場合には、**4月1日以降に対象の物件ファイルを開き、再計算してください。**2022年3月31日以前に作成した物件も開くことが可能です。その際の注意事項を[次ページ](#)に示しますのでご確認ください。

2022年3月31日以前に作成した物件を使用する場合の注意点

面積比率の変更

屋根・外壁について一般部と熱橋部の面積比率が変更になった工法があります。

下表の工法を用いる場合は、[屋根・天井、外壁、床の詳細入力画面①](#)、[②](#)をご確認上、変更ください。

部位	構法	工法
屋根	軸組	垂木間+付加断熱(横下地)
	桝組	垂木間+付加断熱(横下地)
外壁	軸組	充填+付加断熱(横下地)
		充填+付加断熱(縦下地)
	桝組	充填+付加断熱(横下地)
		充填+付加断熱(縦下地)

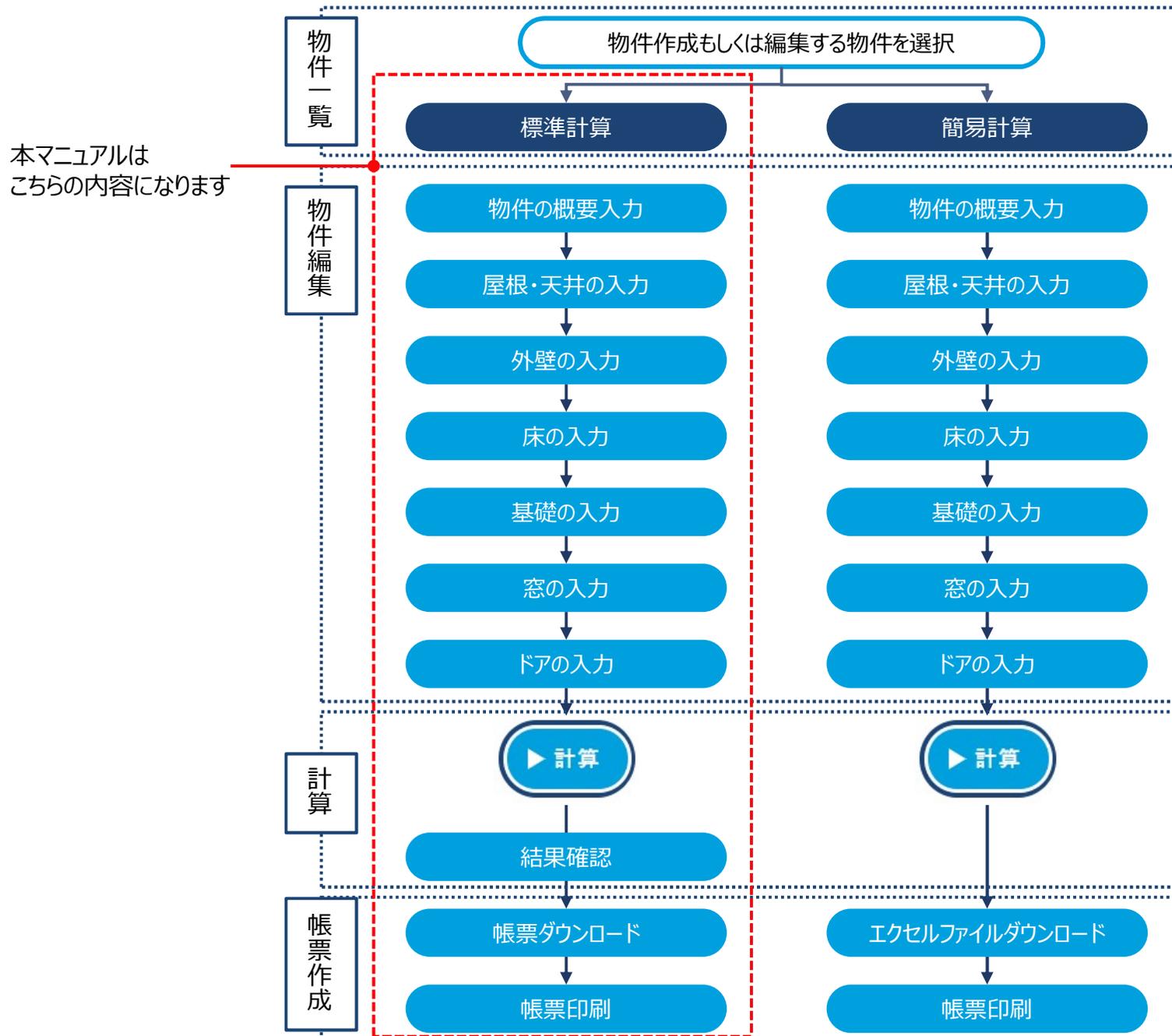
制約事項

YKK AP住宅省エネ性能計算ソフトでは、**木造戸建て住宅**のみ評価できます。
地下のある物件の計算はできません。

1つの物件で入力できる部位の上限数、入力の要否

	部位の上限数	入力の要否
外壁	4	必須
基礎壁	4	任意(400mmを超える場合のみ必要)
窓	50(各方位30)	必須
ドア	5	必須
屋根	4	任意(天井断熱の場合は不要)
天井	4	任意(屋根断熱の場合は不要)
セットバックバルコニー	4	任意(ない場合には不要)
その他の床	4	任意(基礎断熱の場合は不要)
浴室床	4	任意(浴室が基礎断熱の場合は不要)
外気に接する床	4	任意(ない場合には不要)
基礎	8	任意(玄関・勝手口・浴室以外の基礎断熱がない場合には不要)
玄関の基礎	8	任意(玄関が基礎断熱ではない場合には不要)
勝手口の基礎	8	任意(勝手口がない場合、勝手口が基礎断熱ではない場合には不要)
浴室の基礎	8	任意(浴室が床断熱の場合は不要)

YKK AP住宅省エネ性能計算ソフトの流れ

**標準計算**

物件編集から計算、帳票作成までブラウザだけで完結します。

簡易計算

物件編集まではブラウザで行い、計算、帳票作成はダウンロードするエクセルファイルで行います。

物件一覧画面

新規物件を作成する際に、「標準計算で物件作成」を選択してください

作成済みの物件に
以下の操作をします

- 詳細確認
- 物件編集
- コピー
- 帳票

YKK AP住宅省エネ性能計算ソフト

お問い合わせ | 物件一覧 | ユーザ情報 | ログアウト

物件一覧

全149件

<input type="checkbox"/>	物件名	物件住所	計算方法	外皮平均熱貫流率	最終更新日	<input type="button" value="詳細"/>
<input type="checkbox"/>	簡易計算テスト	茨城県つくば1	簡易		2022-3-29 17:11:27	<input type="button" value="詳細"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	標準計算テスト	新潟県新潟市***	標準	0.34	2022-3-29 17:09:46	<input type="button" value="詳細"/>

削除したい物件にチェックを入れます

作成済みの物件一覧です

物件詳細画面

「物件一覧」画面で「詳細」を選択した際に表示される画面です(新規物件作成時には表示されません)

確認したい入力情報を表示します

物件を削除します
クリックすると表示されます

YKK AP住宅省エネ性能計算ソフト

お問い合わせ | 物件一覧 | ユーザ情報 | ログアウト

物件詳細

計算結果 | 物件概要 | 屋根天井 | 外壁 | 床 | 基礎 | 窓 | ドア

戻る

計算結果

外皮等面積の合計	1902.00㎡
外皮平均熱貫流率 (UA値)	0.21 W/㎡K
冷房期の平均日射熱取得率 (η AC値)	0.3 %
暖房期の平均日射熱取得率 (η AH値)	0.3 %

コピー

編集

帳票

物件をコピーします

物件を編集します

帳票のダウンロード画面に移動します

物件編集画面の共通ルール

編集する画面にジャンプします

採用されている計算方法です

現在の入力情報を保存します

必須入力項目です

1. 物件の概要を入力してください。

リストから選択します

該当するものを選択します

値を直接入力します
面積の入力については
100分の1未満の端数を
四捨五入した小数第二位までの
値で入力してください



ガイドが表示されて入力方法の解説が表示されます

物件編集画面（1）－物件概要①

外壁や窓の方位を選択します
「任意の方角」を選ぶと自由な組み合わせの
方位を選択できます

1. 物件の概要を入力してください。

物件名 **必須** | テスト物件 (標準) |

物件住所 **必須** | 都道府県 埼玉県 | 市区町村 1 | 町名・番地 1

地域区分 **必須** | 5地域 | 地域区分を検索する

建物方位 **必須** | 南・西・北・東 | 南西・北西・北東・南東 | 任意の方角

階数 **必須** | 平屋 | 2階建て | 3階建て

土間床等面積 **必須** | 80 m²

工法 **必須** | 軸組構法 | 枠組壁工法

都道府県名または市町村名 検索する

都道府県名または市区町村名を入力してください

閉じる

都道府県名または市町村名を入力してください
東京都23区は、「23区」と入力ください

都道府県名または市町村名 札幌市 検索する

都道府県名	市町村名	地域区分
北海道	札幌市	2地域

クリックすると地域区分が入力されます

閉じる

物件の土間床等面積の合計値を入力します
100分の1未満の端数を四捨五入した小数第二位までの
値で入力してください

■ 土間床等面積とは

床・基礎の断熱構造が「基礎断熱」の場合には、1Fの床面積を入力します。
床・基礎の断熱構造が「床断熱」もしくは「併用」の場合は、玄関・勝手口・浴室・その他について、
基礎断熱である場所の面積の合計値を入力します

物件編集画面（2）－物件概要②

それぞれの場所の断熱位置を選択します

断熱位置 必須	屋根・天井の断熱位置 必須	<input type="button" value="屋根"/>	<input checked="" type="button" value="天井"/>	<input type="button" value="併用"/>
	床・基礎の断熱構造 必須	<input checked="" type="button" value="床断熱"/>	<input type="button" value="基礎断熱"/>	<input type="button" value="併用"/>
	玄関下部の断熱位置(1階) 必須	<input checked="" type="button" value="基礎断熱"/>	<input type="button" value="その他"/>	
	勝手口下部の断熱位置(1階) 必須	<input type="button" value="基礎断熱"/>	<input checked="" type="button" value="その他"/>	
	浴室下部の断熱位置(1階) 必須	<input type="button" value="床断熱"/>	<input checked="" type="button" value="基礎断熱"/>	<input type="button" value="その他"/>
基礎壁の有無 必須	<input type="button" value="あり"/>	<input checked="" type="button" value="なし"/>		
外気に接する床（ピロティ等）の有無 必須	<input type="button" value="あり"/>	<input checked="" type="button" value="なし"/>		
セットバックバルコニーの有無 必須	<input type="button" value="あり"/>	<input checked="" type="button" value="なし"/>		

それぞれ、該当する箇所を選択します

物件編集画面（3）－屋根・天井、外壁、床

当該部位を外皮性能の計算に含める場合は☑してください

熱貫流率をここで計算するか、別途計算した熱貫流率を入力するか選択します

直接入力の場合

屋根1 採用

熱貫流率計算法 必須 計算 直接入力

熱貫流率

熱貫流率参照資料

備考

屋根1
熱貫流率U値 W/m²K

熱貫流率を直接入力します

カタログなどを添付する際の資料番号などを記述してください
審査がスムーズに進みます

屋根1 採用

熱貫流率計算法 必須 計算 直接入力

断熱位置 必須

断熱材入力名称 必須

商品名 一般名 一般名(JIS)

垂木間断熱 外張断熱(受け材あり) 外張断熱(受け材なし) 垂木間+付加断熱(横下地) 垂木間+付加断熱(受け材なし)

外皮面積(窓・ドア含む) m² 必須

備考

屋根1
熱貫流率U値 2.257W/m²K

削除

複製

計算の場合 詳細入力

⊕ 屋根を追加

部位の断熱位置を選択します

断熱材の選択方法を選びます

注意事項

断熱材入力名称を変更する際には、「詳細入力」を閉じてから変更してください
開いたまま変更すると、「詳細入力」に入力したものが消去されます

部位を複製します

部位を削除します

部位の面積を入力します。
部位に窓・ドアがある場合は、窓・ドアの面積を含んだ面積を入力してください
100分の1未満の端数を四捨五入した小数第二位までの値で入力してください

新しい部位を追加します

一般部位の仕様（建材、厚さ）を入力する画面を表示します
⇒[屋根・天井、外壁、床の詳細入力画面①](#)

物件編集画面（４）－外壁

外壁、基礎壁の場合は、方位別に外皮面積を入力します
 窓・ドアを含む外皮面積を入力してください
 100分の1未満の端数を
 四捨五入した小数第二位までの値で入力してください

外壁1
採用

?

熱貫流率計算法 必須

計算

直接入力

断熱位置 ? 必須

充填断熱

外張断熱(受け材あり)

外張断熱(受け材なし)

充填+付加断熱(横下地)

充填+付加断熱(縦下地)

充填+付加断熱(受け材なし)

断熱材入力名称 ? 必須

商品名

一般名

一般名(JIS)

詳細入力

外皮面積 (窓・ドア含む)

必須

北西	<input type="text" value="0"/> m ²	北	<input type="text" value="0.00"/> m ²	北東	<input type="text" value="0"/> m ²
西	<input type="text" value="0.00"/> m ²			東	<input type="text" value="0.00"/> m ²
南西	<input type="text" value="0"/> m ²			南	<input type="text" value="0.00"/> m ²

備考

物件概要で選択した方位だけ面積を入力できます

物件編集画面（5）－基礎壁

基礎壁の場合は、基礎壁の位置を選択します

基礎壁1 採用

熱貫流率計算法 必須

計算

直接入力

基礎壁種類 必須

基礎壁(外気)

基礎壁(床裏)

断熱材入力名称 必須

商品名

一般名

一般名(JIS)

詳細入力

外皮面積（窓・ドア含む） 必須

北西 m²

北 m²

北東 m²

西 m²

北西 北 北東

東 m²



南西 m²

南 m²

南東 m²

備考

床裏側の入力 必須

床裏側を入力する

「基礎壁2」として入力項目が追加されます。

ここで入力した情報を
引き継いで床裏側を入力することができます
基礎断熱を選択している場合は
床裏側の入力は不要です。

床裏側の場合はいずれの方位に入力しても構いません
100分の1未満の端数を
四捨五入した小数第二位までの値で入力してください

物件編集画面（6）－屋根・天井、外壁、床の詳細入力画面①

部位の室外側の条件を選択します

建材の選択方法を選びます

断熱位置が「外張断熱(受け材あり)」等の場合
断熱材の熱抵抗低減率を考慮するため、を入力する必要があります
⇒詳しくは[屋根・天井、外壁、床の詳細入力画面②](#)

「軸組構法において充填断熱する場合」の熱貫流率を詳細入力

選択 入力方法 **必須** 分類・建材等名称 **必須** 熱抵抗低減 厚さ mm **必須** 熱伝導率 W/(mK) **必須** 熱抵抗 mK/W 断熱部 83% 断熱部+熱橋部 0% 熱橋部 0% 17%

室外側の表面熱伝達抵抗 通気層等 0.11

選択	材料名	直接入力	材料名	直接入力	厚さ mm	熱伝導率 W/(mK)	熱抵抗 mK/W	断熱部 83%	断熱部+熱橋部 0%	熱橋部 0%	17%
<input type="checkbox"/>	材料名	<input type="checkbox"/>	木質系壁材・下地材	合板	12	0.1600	0.075	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	材料名	<input type="checkbox"/>	面材で空開された空気層	面材で空開された空気層	15		0.090	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	材料名	<input checked="" type="checkbox"/>	高性能品HG20-38		90	0.000	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	断熱材区分		<input checked="" type="checkbox"/> 断熱材	<input type="checkbox"/> 非断熱材							
<input type="checkbox"/>	材料名	<input type="checkbox"/>	木質系壁材・下地材	天然木材	90	0.1200	0.750	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	材料名	<input type="checkbox"/>	非木質系壁材・下地材	せっこうガード(GB-R、GB-D、GB-L、GB-NC)	12.5	0.2210	0.057	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	室内側の表面熱伝達抵抗						0.11				

選択行を削除
選択行の上に追加
選択行の下に追加

断熱・熱橋部の厚さの合計が一致するように入力してください

キャンセル 確定

厚さ[mm] 117 129.5
各断面の熱抵抗の合計[mK/W] 0.385 1.192
各断面の熱貫流率の合計[W/m²K] 2.597 0.839

新たな建材を追加、不要な建材を削除します

入力が完了したら「確定」を押します

直接入力で、断熱位置が下記の場合、断熱材区分を選択します
 屋根：外張断熱(受け材あり)、垂木間+付加断熱(横下地)
 外壁：外張断熱(受け材あり)、充填+付加断熱(横下地)
 充填+付加断熱(縦下地)、

断熱・熱橋部の厚さの合計値が一致しない場合にエラーメッセージが表示されます

当該行の建材が含まれる部分にします
各部分の合計厚さが一致するように入力してください

物件編集画面（7）－屋根・天井、外壁、床の詳細入力画面②

屋根：外張断熱(受け材あり)、垂木間+付加断熱(横下地)
 外壁：外張断熱(受け材あり)、充填+付加断熱(横下地)、充填+付加断熱(縦下地)
 を選択した場合、外張断熱部材・付加断熱部材の熱抵抗に0.9を乗じて計算する必要があります

断熱材の熱抵抗低減率を考慮するため
 外張断熱部材・付加断熱部材の熱抵抗低減欄を
 ①します。断熱材の熱抵抗に0.9を乗じて計算します

外壁1 採用

熱貫流率計算法 計算 直接入力

断熱位置 必須
 充填断熱 外張断熱(受け材あり) 外張断熱(受け材なし) 充填+付加断熱(横下地) 充填+付加断熱(縦下地)
 充填+付加断熱(受け材なし)

断熱材入力名称 必須
 商品名 一般名 一般名(JIS)

「軸組構法において充填+付加断熱(横下地)する場合」の熱貫流率を詳細入力

入力方法 必須 参照・建材等名 必須

材料名	厚さ mm	熱伝導率 W/(mK)	熱抵抗 mK/W	断熱部 83%	断熱部-断熱部 0%	断熱部 17%
室外側の表面熱伝達抵抗 通気層等			0.11			
<input checked="" type="checkbox"/> フェノールフォーム フェノールフォーム保温板1種2号	100	0.022	4.091	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 木質系壁材・下地材 合板	9	0.16	0.056	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> グラスウール 高性能グラスウール断熱材40K相当	100	0.034	2.941	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 木質系壁材・下地材 天然木材	100	0.12	0.833	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
室内側の表面熱伝達抵抗			0.11			
厚さ [mm]	209				209	
各断面の熱抵抗の合計[mK/W]			7.308		5.200	
各断面の熱貫流率の合計[W/mK]			0.137		0.192	

選択行を削除
 選択行の上に追加
 選択行の下に追加

キャンセル 確定

当該行の
 建材が含まれる部分に①します
 各部分の合計厚さが一致するように
 入力してください

物件編集画面（8）－基礎①

当該基礎を外皮性能の計算に含める場合は☑してください

基礎の線熱貫流率をここで計算するか、線熱貫流率を直接入力するか、規定値を使用して入力を省略するか選択してください

5. 基礎・土間床について入力してください。

基礎1 採用

線熱貫流率計算法 必須

計算

直接入力

規定値で入力 (1.8W/mK)

基礎の形式 必須

布基礎

べた基礎(土間天端がGLより上)

べた基礎(土間天端がGLより下)

断熱材入力方法 必須

商品名

一般名

一般名(JIS)

直接入力

入力する部位 必須

外気側

床裏側

断熱材の
選択方法を
選びます

基礎の位置を
選択します

R1

分類

選択してください

厚さ

mm

熱伝導率

W/mK

R2

分類

選択してください

厚さ

mm

熱伝導率

W/mK

R3

分類

選択してください

厚さ

mm

熱伝導率

W/mK

R4

分類

選択してください

厚さ

mm

熱伝導率

W/mK

H1

基礎高 必須

mm

H2

底盤高 必須

mm

W1

断熱材根入れ

mm

W2

断熱材折り返し

mm

W3

断熱材折り返し

mm

注意事項

H1は、400mm以下を入力してください
基礎の高さが400mmを超える場合には、超えた部分を「基礎壁」として入力してください

「基礎の形式」のガイドを参考に各部の断熱材種類を選択後、寸法を入力してください

物件編集画面（9）－基礎②

基礎の周長を入力します
小数第三位までの値で入力してください

基礎を
削除します

基礎を
複製します

基礎周長 **必須** 0 m

備考

床裏側の入力

床裏側を入力する

「基礎2」として入力項目が追加されます。

基礎1
線熱貫流率 ψ 値 - W/mK

削除

コピー

入力している土間が床裏側にも面している場合は
「床裏側を入力」をクリックしてください。ここで入力した情報を
引き継いで床裏側を入力することができます

物件編集画面（10）－窓

6. 窓について入力してください。

窓リスト 度の入力はありません。エネルギー消費性能の算定方法、第三章第四節付録Bに基づき、取得日射熱補正係数は、暖房期0.51、冷房期0.93のデフォルト値を使用しています。

チェック	窓記号/設置位置/材料入力名称	サイズ・付属部材	熱貫流率	日射熱取得率
⊕ 窓を追加				

窓を追加ボタンを押すと窓編集画面が開きます
⇒詳しくは[窓編集画面①](#)

物件編集画面（11） – 窓編集画面①

夏期の日射熱取得率を入力してください

方位を選択すると、設置部位が表示されます。窓が設置された部位を選択してください

根拠資料：
カタログなどを添付する際の資料番号などを記述してください
審査がスムーズに進みます

YKK APの窓の場合は「商品名」をそれ以外は「直接入力」を選んでください

リストをクリックすると窓が選択できます

商品名 直接入力

商品名

U値 U値根拠資料

η値 η値根拠資料

方位 必須 南 西 北 東 上面

設置部位 必須 外壁1

商品 必須 商品名 直接入力

樹脂 APW330/APW331 ガス入/Low-E複層(G14)/日射遮蔽型ブルー・ブロンズ/樹脂スペーサー

ガス入/Low-E複層(G14)/日射遮蔽型ブルー・ブロンズ/樹脂スペーサー

面格子付引違い窓

仕様 2.15W/mK

樹脂 APW330/APW331

ガス入/Low-E複層(G14)/日射遮蔽型ブルー・ブロンズ/樹脂スペーサー

引違いテラス戸(シャッター付)

熱貫流率 日射熱取得率

代表試験体 1.50W/mK 0.29

仕様 2.15W/mK

樹脂 APW330/APW331

ガス入/Low-E複層(G14)/日射遮蔽型ブルー・ブロンズ/樹脂スペーサー

熱貫流率 日射

代表試験体 1.36W/mK

「建具の仕様」、「商品シリーズ」、「ガラス種」で商品を絞り込めます

使用する熱貫流率を選択して下さい（申請時に添付する書類が異なります）

■ 代表試験体とは

商品・窓種ごとに熱貫流率、日射熱取得率を規定しており、YKK APホームページに性能値が公開されています

■ 仕様とは

建具とガラスの組み合わせによって熱貫流率を規定しています。代表試験体よりも熱貫流率が大きく設定される傾向があります

■ 熱貫流率について

熱貫流率は、ガラスの厚さ・種類（一般・合せ・Low-Eガラスカラー等）と中空層の厚さの組み合わせにより、中空層の厚さが同じでも熱貫流率が同じにはならない組み合わせが存在します

その場合は、熱貫流率の数値が大きい方の数値を表記するようにいたしておりますので、自己適合宣言付属書の値と一致しない場合もございます

物件編集画面（12） – 窓編集画面②

入力情報を破棄して
窓編集画面を閉じます

ガス入/Low-E複層(G14以上)/日射遮蔽型ブルー・ブロンズ/
樹脂スペーサー
引違い2枚建 W=1870(シャッター付含)

代表試験体 1.36W/mK
仕様 1.90W/mK

窓種 APW330/APW331

熱貫流率 日射熱取得率 0.29

面積 **必須** 呼称入力 幅・高さ

呼称を半角数字5桁もしくは6桁で入力してください。

呼称 16511 検索 呼称名 「16511」
幅 1650.0 mm 高さ 1100.0 mm 面積 1.815 m²

付属部材 **必須** なし シャッター又は雨戸 外付けブラインド 障子 風除室

窓記号 **必須** AW-1

設置階 選択しない 1階 2階

備考

熱貫流率U値 1.28 W/mK | 日射熱取得率η値 0.29

キャンセル 確定

呼称を入力後、
検索ボタンを押すと
面積が自動的に
計算されます

窓記号は物件内で
重複しないように
つけてください。

便利な使い方

窓記号を図面の窓記号と揃
えると審査がスムーズに進み
ます

審査をスムーズにする
ために、なるべく設置階を
入力してください

入力情報を反映して物件編
集画面に戻ります

物件編集画面（13） – 窓リスト

当該窓を外皮性能の計算に含める場合は☑してください
（一時的に計算に含めたくない場合に☑を外してください）

6. 窓について入力してください。

窓リスト 窓の入力は必要ありません。エネルギー消費性能の算定方法、第三章第四节付録Bに基づき、取得日射熱補正係数は、暖房期0.51、冷房期0.93のデフォルト値を使用しています。

チェック	窓記号/設置位置/材料入力名称	サイズ・付属部材	熱貫流率	日射熱取得率
採用 <input checked="" type="checkbox"/>	AW-1 西 設置部位 外壁1	幅 1805mm 高さ 2000mm	代表試験体 1.41 W/m ² K	0.29
編集	樹脂 APW330/APW331	付属部材		
コピー	ガス入/Low-E複層(G14)/日射遮蔽型ブルー・ブロンズ/樹脂スペーサー	シャッター又は雨戸		
削除	引違いテラス戸(シャッター付合)			

+ 窓を追加

入力済みの窓を
編集、コピー、削除する
ときに押します

便利な使い方

1つの物件では建具の仕様、商品シリーズ、ガラス種は共通の場合が多いと思います。
1つ目の窓を登録後、「コピー」をして「編集」画面から方位、設置部位、窓種、面積を順次変更すると窓数が多くても短時間で入力することができます。

物件編集画面（14）－ドア

7. ドアについて入力してください。

ドアリスト

チェック	ドア記号/設置位置/材料入力名称	サイズ・付属部材	熟度流率	日射熱取得率
------	------------------	----------	------	--------

⊕ ドアを追加

ドアを追加ボタンを押すとドア編集画面が開きます
⇒詳しくは[ドア編集画面①](#)

物件編集画面（15） - ドア編集画面①

方位を選択すると、
設置部位が表示されます
ドアが設置された部位を
選択してください

YKK APのドアの場合
は「商品名」をそれ以
外は「直接入力」を選
んでください

リストをクリックすると
ドアが選択できます

ドア記号は物件内で
重複しないように
つけてください。

便利な使い方

ドア記号を図面のドア記
号と揃えると審査がスム
ーズに進みますので、申請の
ための通し番号を設定し
てください

The screenshot shows a web-based form for editing door specifications. The form is divided into several sections:

- 方位 (Direction):** Includes buttons for 南 (South), 西 (West), 北 (North), and 東 (East). A red dashed box highlights this section.
- 設置部位 (Installation Location):** A dropdown menu showing 外壁1 (Exterior Wall 1).
- 商品 (Product):**
 - Buttons for 商品名 (Product Name) and 直接入力 (Direct Input).
 - A red dashed box highlights the product selection area, which includes a dropdown for ヴェナート D30 (Venart D30), a dropdown for 枠 (Frame), and a dropdown for ガラス種 (Glass Type).
 - Two product cards are shown:
 - Card 1: ヴェナート D30 片開き (Venart D30 Single Swing). It shows a 代表試験体 (Representative Test Body) with a 熱貫流率 (U-value) of 1.79 W/m²K and a 日射熱取得率 (Solar Heat Gain Coefficient) of 0.06. A red box highlights the U-value field.
 - Card 2: ヴェナート D30 親子子扉採光無 (Venart D30 Parent-Child Frame No Light). It shows the same U-value and SHGC.
- 面積 (Area):**
 - Buttons for 商品 (Product) and 幅・高さ (Width/Height).
 - Fields show 幅 922 mm (Width), 高さ 2330 mm (Height), and 面積 2.14826 m² (Area).
 - A note states: サイズが異なる場合は、直接入力となります。(If the size is different, it will be direct input.)
- 付属部材 (Accessories):** A dropdown menu showing なし (None) and 風除室 (Windproof Room).
- ドア記号 (Door Code):** A text input field.
- 備考 (Remarks):** A text input field.

Additional annotations and notes:

- A red box labeled **注意事項** (Notes) states: YKK APのドアを選択すると標準サイズが自動設定されます。サイズが異なる場合は、「幅・高さ」タブを選び、幅と高さを入力してください。(When selecting a YKK AP door, the standard size is automatically set. If the size is different, select the 'Width/Height' tab and enter the width and height.)
- A red box explains the U-value selection: 使用する熱貫流率を選択して下さい（申請時に添付する書類が異なります）。(Please select the U-value to be used (the documents attached at the time of application will be different)).
- A red box explains the product selection: 「商品シリーズ」、「枠」、「ガラス種」で商品を絞り込めます。(You can narrow down the product by 'Product Series', 'Frame', and 'Glass Type').
- A red box explains the close button: 入力情報を破棄してドア編集画面を閉じます。(Discard the input information and close the door editing screen).

At the bottom of the form, the calculated values are displayed: 熱貫流率U値 1.79 W/m²K | 日射熱取得率η値 0.06

物件編集画面（16）－ドア編集画面②

×閉じる

方位 **必須**

設置部位 **必須**

商品 **必須** 商品名

商品シリーズ ▼ 枠 ▼ ガラス種 ▼

直接入力の場合

商品 **必須** 商品名

商品名

U値 U値根拠資料

ドア記号 **必須**

備考

根拠資料：
カタログなどを添付する際の資料番号などを記述してください
審査がスムーズに進みます

物件編集画面（17）－ドアリスト

当該ドアを外皮性能の計算に含める場合は☑してください
(一時的に計算に含めたくない場合に☑を外してください)

7. ドアについて入力してください。

ドアリスト

チェック	ドア記号/設置位置/材料入力名称	サイズ・付属部材	熱貫流率	日射取得率
<input checked="" type="checkbox"/>	D1 北 設置部位 外壁1	幅 922mm 高さ 2330mm 付属部材 なし	代表試験体 1.79 W/mK	0.06

採用 編集 ヴェナート D30 片開き
コピー 組立完成品
削除 D2仕様 ドア本体:採光無

⊕ ドアを追加

入力済みのドアを
編集、コピー、削除する
ときに押します

計算（1） – 計算実行①

一通りの物件情報の入力が終わったら、上部の計算ボタンを押してください
入力情報のチェック後、計算が実行されます

YKK AP住宅省エネ性能計算ソフト

標準計算

お問い合わせ | 物件一覧 | ユーザ情報 | ログアウト

物件概要 | 屋根天井 | 外壁 | 床 | 基礎 | 窓 | ドア | **▶ 計算** | 見積連携 | キャンセル | 保存

引違い窓(面格子・シャッター付合)

採用 開口：窓 ID2 東 設置部位 外壁1 ▼

編集 樹脂 APW430+/APW431+クリプトンガス入り

コピー ガス入/ダブルLow-E三層複層(G12×2)/日射遮蔽型ブルー・ブロンズ/樹脂スペーサー

削除 引違い窓(面格子・シャッター付合)

幅	10mm	仕様	
高さ	10mm	1.70	0.24
付属部材	なし	W/m ² K	

ガイドを表示

窓を追加

7. ドアについて入力してください。

ドアリスト

チェック	ドア記号/設置位置/材料入力名称	サイズ・付属部材	熱貫流率	日射熱取得率
採用 <input checked="" type="checkbox"/>	ID455 東 設置部位 外壁1 ▼	幅 1mm 高さ 1mm	仕様 3.18 W/m ² K	0.63
編集	コンコード S30 (アルミ) 袖付	付属部材		
コピー	ドア本体・袖:ガス無/複層	風除室		
削除	ドア本体:採光付			

計算（2）－計算実行②

入力に問題がある場合は、この欄にエラーが出力されますので、
入力し直してください

YKK AP住宅省エネ性能計算ソフト 標準計算 お問い合わせ | 物件一覧 | ユーザ情報 | ログアウト

物件概要 | 屋根天井 | 外壁 | 床 | 基礎 | 窓 | ドア | ▶計算 | 見積連携 | キャンセル | 保存

- 物件名が入力されていません。
- セットバックバルコニー1の面積は0より大きい値である必要があります。
- セットバックバルコニー1の層が入力されていません。

1. 物件の概要を入力してください。

物件名 **必須**

物件住所 **必須**

都道府県

市区町村

町名・番地

地域区分 **必須**

建物方位 **必須**

階数 **必須**

ガイドを表示

計算（3）－計算結果確認（外皮性能計算結果と判定結果）

省エネルギー基準の一次エネルギー計算に必要な計算結果です

申請時に提出する帳票をダウンロードします

外皮性能の計算結果

戻る
帳票をダウンロード
住宅情報を保存

エネルギー消費性能の計算をする

※エネルギー消費性能の計算に移行しますので、住宅情報を保存してからクリックしてください。

計算結果

外皮等面積の合計	543.08 m ²
外皮平均熱貫流率（UA値）	0.30 W/m ² K
冷房期の平均日射熱取得率（ η_{AC} 値）	1.6 %
暖房期の平均日射熱取得率（ η_{AH} 値）	1.6 %

省エネルギー基準外皮性能適合可否結果

等級を選択 ZEH+ ZEH 等級5 等級4 等級3 等級2

	計算結果	基準値	判定
外皮平均熱貫流率	0.30	0.87	適合
冷房期の平均日射熱取得率	1.6	2.8	適合

物件情報に計算結果を追加して保存します

物件の外皮性能と比較する基準を選択します

外皮計算結果の適合判定結果です

計算（４）－計算結果確認（方位ごとの詳細計算結果）

方位係数：冷房期 0.434、暖房期 0.936

A<南面>

1) 窓

窓記号	寸法(m)		熱貫流率	日射熱取得率	付属部材の有無	取得日射熱補正係数	冷房期日射熱取得量	暖房期日射熱取得量	熱損失
	幅	高さ							
3	0.6	0.9	1.83	0.51	なし	デフォルト値	0.11	0.13	0.99
窓記号4	1.6	0.3	1.76	0.12	外付けブラインド	デフォルト値	0.02	0.03	0.84
窓<南面>各値合計							0.13	0.16	1.83

2) 外壁

仕様番号	外壁面積	除外窓等面積	計算対象外壁面積	熱貫流率	日射の当たらない基礎等の有無	冷房期日射熱取得量	暖房期日射熱取得量	熱損失
外壁1	10.10	1.02	9.08	1.681	なし	0.23	0.49	15.26
外壁2	10.10	0.00	10.1	1.571	なし	0.23	0.50	15.86
外壁<南面>各値合計						0.46	0.99	31.12

3) 住宅(南面)計算結果

南面	外皮等面積（内訳）	20.20㎡（窓 1.02㎡、外壁 19.18㎡）		
	冷房期総日射熱取得量	0.59		
	暖房期総日射熱取得量	1.15		
	総熱損失	32.95		

基礎壁（床裏側）の有無

窓等面積を含んだ外壁面積（入力値）

窓等面積を除いた外壁面積（計算値）

項目番号	項目名	単位
①	熱貫流率	[W/m ² K]
②	日射熱取得率	[-]
③	日射熱取得量	[W/(W/m ²)]
④	熱損失	[W/K]
⑤	面積	[m ²]

計算（5） – 計算結果確認（基礎の詳細計算結果）

線熱貫流率を
 計算した場合：精算法
 直接入力の場合：入力値
 規定値の場合：既定値 となります

C<基礎>

1) 土間床等の面積の入力

部位名称	部位種類	面積(m ²)
基礎1	基礎	
土間床等面積合計		100

2) 基礎等の断面仕様

部位名称	部位種類	断熱材熱抵抗 (R1)	断熱材熱抵抗 (R2)	断熱材熱抵抗 (R3)	断熱材熱抵抗 (R4)	基礎高 (H1)	底盤高 (H2)	断熱材根入れ (W1)	断熱材折り返し (W2)	断熱材折り返し (W3)	適用計算式番号	線熱貫流率
基礎1	基礎	0.263			0.263	0.400	-0.050				精算法	0.714

3) 基礎等の外周長さ

部位名称	部位種類	基礎等外周長(L)	温度差係数	熱損失
基礎1	基礎	1.00	1.0	0.71
基礎等熱損失合計				0.71

外気に接する場合は、1.0
 床裏に接する場合は、0.7になります

項目番号	項目名	単位
①	熱抵抗	[m ² K/W]
②	長さ	[m]
③	線熱貫流率	[W/mK]
④	温度差係数	[-]
⑤	熱損失	[W/K]

計算（6）－計算結果確認（外壁等熱貫流率の計算結果）

2) 外壁1の実質熱貫流率(W/(m²K))

				熱橋面積比		
				断熱部	断熱部+熱橋部	熱橋部
				0.83		0.17
分類	材料名	厚さd (m)	熱伝導率λ (W/mK)	d/λ (m ² K/W)		
室外側の表面熱伝達抵抗 Rse		-		0.110		0.110
木質系壁材・下地材/合板		0.009	0.160	0.056		
グラスウール/高性能グラスウール断熱材16K相当		0.1	0.0380	2.632		
木質系壁材・下地材/合板		0.009	0.160			0.056
木質系壁材・下地材/天然木材		0.1	0.120			0.833
室内側の表面熱伝達抵抗 Rsi		-		0.110		0.110
熱貫流抵抗 ΣR=Σ(di/λi) [m ² ・K/W]				2.908		1.110
熱貫流率 1/ΣR [W/m ² ・K]				0.344		0.901
平均熱貫流率 1/ΣR [W/m ² ・K]				0.439		

部分の面積比率

部分の熱抵抗

部分の熱貫流率

部位の平均熱貫流率

計算（7）－計算結果確認（窓等の計算結果）

申請時に、欄に記載の附属書、自己適合宣言書を添付してください
 添付する書類のリンクは「帳票ダウンロード」ページからダウンロードできます
 ⇒詳しくは[帳票作成－ダウンロード画面](#)

窓リスト

窓記号	商品名			附属書No	自己適合宣言書
W1	アルミ樹脂複合	エピソード	ガス入/Low-E複層(G16以上)/日射遮蔽型ブルー・ブロンズ/アルミスペーサー	その他の窓(ガラスブロックウインドウ除く)	
W2	アルミ樹脂複合	エピソードNEO	ガス入/Low-E複層(G14以上)/日射取得型ニュートラル/アルミスペーサー	片上げ下げ窓(面格子付含)	APF0039-3 APS0001
W3	アルミ樹脂複合	エピソード	ガス入/Low-E複層(G14以上)/日射取得型ニュートラル/アルミスペーサー	FIX窓	APF0029-3 APS0001
WA4	樹脂	APW330/APW331	ガス入/Low-E複層(G14以上)/日射遮蔽型ブルー・ブロンズ/樹脂スペーサー	引違いテラス戸(シャッター付含)	APF0015-4 APS0001
D1	片開き	ヴェナート D30	組立完成品	D3仕様 ドア本体:採光付	APF0106 APS0002

帳票作成－ダウンロード画面

帳票ダウンロード

戻る

住宅情報を保存

PDF出力用の等級を選択

ZEH+ ZEH 等級7 等級6 等級5

等級4 等級3 等級2

物件の外皮性能と比較する基準を選択します
判定結果が帳票に反映されます

計算結果のPDFファイルは、以下のボタンからダウンロードできます。

PDFファイルをダウンロード

帳票のPDFが
ダウンロードできます

帳票の「窓・ドアに関する付属資料」には、附属書No.や自己適合宣言書No.が表示されます。
性能証明としてご使用になる場合は、以下の書類の添付が必要です。ダウンロードしてご利用ください。
「大部分が透明材料で構成されている開口部（開口部区分「窓」）となる日射熱取得率は、『開口部の仕様別日射熱取得率とYKK AP製ガラス一覧』の値（仕様値）を用いております。
なお、開口部区分「窓」となる「袖および欄間付きドア等」の日射熱取得率は、自己適合宣言書・附属書の値（代表試験体の値）を用いております。
詳細は、帳票「窓・ドアに関する付属資料」で確認することができます。

代表試験体を選んだ
窓・ドアについては、
こちらのPDFを
申請時に添付して下さい

仕様を選んだ
窓・ドアについては、
こちらのPDFを
申請時に添付して下さい

	附属書No.	自己適合宣言書	仕様値
窓	APF0001-9	APS0001	開口部の日射熱取得率
	APF0007-7		開口部の熱貫流率 (窓・框ドア・引戸)
ドア	APF0127-4	APS0002	開口部の日射熱取得率
			開口部の熱貫流率と日射熱取得率 (玄関ドア・引戸)

開口部区分「窓」となる
「袖および欄間付きドア等」の
日射熱取得率は、こちらのPDFを
申請時に添付して下さい

アルミ樹脂複合	エピソードNEO	熱貫流率	日射熱取得率
ガス入/Low-E複層(G14以上)/日射取得型ニュートラル/アルミスペーサー		代表試験体 1.83W/m ² K	0.51
片上げ下げ窓(両開き付)		仕様 2.33W/m ² K	

帳票－窓・ドアに関する付属資料①

■「窓・ドアに関する付属資料」シート の見方

窓・ドアに関する付属資料

【設置階】
設置階を設定した場合に表記されます。

【開口区分】
「大部分が透明材料で構成されている開口部」を窓、「大部分が不透明材料で構成されている開口部」をドアとし、表記しております。

【熱貫流率】
『建築研究所技術情報』の「2. エネルギー消費性能の算定方法 / 2.1 算定方法 / 第三章 暖冷房負荷と外皮性能 / 第三節 熱貫流率及び線熱貫流率」に基づき、以下の値を用いております。
尚、*1を使用した熱貫流率の一部には、ガラスの厚さ・種類（一般・合せ・Low-E膜色等）と中空層の厚さの組み合わせにより、中空層の厚さが同じでも熱貫流率が同じにはならない組み合わせが存在します。
その場合は、熱貫流率が大きい方の数値を表記しておりますので、自己適合宣言書 附属書の値と一致しない場合もございます。（⇒詳しくは、別紙「熱貫流率が自己適合宣言書 附属書の値と一致しない例」参照）
*1 自己適合宣言書・附属書（スペーサーの材質については、ガラス種の列でご確認ください）
*2 『「建具とガラスの組み合わせ」による開口部の熱貫流率』
*3 直接入力：根拠資料は窓種の列をご確認ください

【日射熱取得率】
『建築研究所技術情報』の「2. エネルギー消費性能の算定方法 / 2.1 算定方法 / 第三章 暖冷房負荷と外皮性能 / 第四節 日射熱取得率」に基づき、以下の値を用いております。
*4 自己適合宣言書・附属書
*5 『開口部の仕様別日射熱取得率とYKK AP製ガラス一覧』
*6 0.034×1 （外気側表面に応じた係数） $\times U$ （熱貫流率）
*7 直接入力：根拠資料はガラス種の列をご確認ください

設置階	方位	窓・ドア記号	開口区分	建具の仕様 (玄関ドアの場合： 枠バリエーション)	商品シリーズ (直接入力の場合：名称)	窓種 (玄関ドアの場合：デザイン) (直接入力の場合：熱貫流率の根拠資料)	ガラス種 ガス/構成/日射：Low-E膜色/スペーサー (直接入力の場合： 日射熱取得率の根拠資料)	窓・ドア			付属部材	熱貫流率		日射熱取得率		熱性能値として 代表試験体を用いた 場合の根拠		備考	
								幅 mm	高さ mm	面積 ㎡		性能値 W/m ² K	根拠	性能値	根拠	附属書No.	区分記号		自己適合宣言書
1	南	W1	窓	樹脂	APW430+/APW431+クリプトンガス入り	たてすべり出し窓(連窓・段窓含)	ガス入/ダブルLow-E三層複層(G14×2)/日射遮蔽型ブルー・ブロンズ/樹脂スペーサー	1000	1000	1.00	なし	0.78	*1	0.24	*5	APF0001-9	①	APS0001	
2	西	W2	窓	樹脂	APW230	全窓	ガス無/Low-E複層(A14以上)/日射遮蔽型ブルー・ブロンズ/アルミスぺーサー	1000	1000	1.00	シャッター 又は雨戸	1.96	*2	0.29	*5	—	—	—	
2	上面	w13	窓	—	標準計算直接入力窓	U値根拠資料1	η値根拠資料1	1000	1000	1.00	なし	6.51	*3	0.80	*7	—	—	—	
—	南	D1	窓	袖付	コンコード S30 (断熱タイプ)	ドア本体：採光付(C02N、C03N、C06Nデザイン)	ドア本体：組立完成品 袖：Low-E防犯合わせ複層(ガラス中央部の熱貫流率1.4以下)	1690	2235	3.78	なし	2.33	*1	0.27	*4	APF0127-4	—	APS0002	
—	西	D2	ドア	袖付	コンコード S30 (断熱タイプ)	ドア本体：採光付(C02N、C03N、C06Nデザイン以外)	ドア本体：組立完成品 袖：Low-E防犯合わせ複層(ガラス中央部の熱貫流率1.4以下)	1690	2235	3.78	風除室	1.86	*1	0.06	*6	APF0127-4	—	APS0002	
—	北	D3	ドア	外引込み	M30 顔認証自動ドア (断熱タイプ)	ドア本体：採光付(C02N、C03N、C06Nデザイン)	組立完成品	981	2195	2.15	なし	2.91	*2	0.10	*6	—	—	—	
1	東	W3	ドア	樹脂	APW430/APW431	勝手口ドア 断熱腰パネル付	ガス入/ダブルLow-E三層複層(G15×2)/日射遮蔽型ニュートラル/樹脂スペーサー	1000	1000	1.00	なし	1.14	*1	0.04	*6	APF0007-7	②	APS0001	

次ページで説明

ドアで入力しても「大部分が透明材料」で構成されている場合、「窓」
窓で入力しても「大部分が不透明材料」で構成されている場合、「ドア」と区分されます

窓の設置した階が表示されます
設置した階を選択しない場合は「—」で表示されます

帳票 – 窓・ドアに関する付属資料②

■「窓・ドアに関する付属資料」シート の見方

熱貫流率		日射熱取得率		熱性能値として 代表試験体を用いた 場合の根拠			備考
性能値 W/m ² K	根拠	性能値	根拠	附属書No.	区分記号	自己適合宣言書	
0.78	*1	0.24	*5	APF0001-9	①	APS0001	
1.96	*2	0.29	*5	—	—	—	
6.51	*3	0.80	*7	—	—	—	
2.33	*1	0.27	*4	APF0127-4	—	APS0002	
1.86	*1	0.06	*6	APF0127-4	—	APS0002	
2.91	*2	0.10	*6	—	—	—	
1.14	*1	0.04	*6	APF0007-7	②	APS0001	

熱貫流率の性能値として「**代表試験体を用いた場合**」、
帳票に附属書No.、区分記号、自己適合宣言書が表示されます
開口部区分が「ドア」の場合、代表試験体を用いても区分記号は表示されません

区分記号は附属書の「**■ ガラス構成ごとの開口部の熱貫流率区分・開口部の日射熱取得率**」
または「**■ 開口部の熱貫流率 性能一覧**」に記載されています

熱貫流率の一部には、ガラスの厚さ・種類（一般・合せ・Low-E膜色等）と
中空層の厚さの組み合わせにより、中空層の厚さが同じでも熱貫流率が同じには
ならない組み合わせが存在します ⇒ 詳しくは、
別紙「熱貫流率が自己適合宣言書 附属書の値と一致しない例」参照ください

申請時に、欄に記載の附属書、自己適合宣言書を添付してください
添付する書類のリンクは「帳票ダウンロード」ページからダウンロードできます



帳票の「窓・ドアに関する付属資料」には、附属書No.や自己適合宣言書No.が表示されます。
性能証明としてご使用になる場合は、以下の書類の添付が必要です。ダウンロードしてご利用ください。
「大部分が透明材料で構成されている開口部（開口部区分「窓」）となる日射熱取得率は、「開口部の仕様別日射熱取得率と
YKK AP製ガラス一覧」の値（仕様値）を用いております。
なお、開口部区分「窓」となる「袖および傾開付きドア等」の日射熱取得率は、自己適合宣言書・附属書の値（代表試験体の
値）を用いております。
詳細は、帳票「窓・ドアに関する付属資料」で確認することができます。

	附属書No.	自己適合宣言書	仕様値
窓	APF0001-9	APS0001	開口部の日射熱取得率
	APF0007-7		開口部の熱貫流率 (窓・框ドア・引戸)
ドア	附属書No.	自己適合宣言書	仕様値
	APF0127-4	APS0002	開口部の熱貫流率と日射熱取得率 (玄関ドア・引戸)

帳票 – 窓・ドアに関する付属資料③

■「窓・ドアに関する付属資料」シート の見方

熱貫流率		日射熱取得率		熱性能値として 代表試験体を用いた 場合の根拠			備考
性能値 W/m ² K	根拠	性能値	根拠	附属書No.	区分記号	自己適合宣言書	
0.78	*1	0.24	*5	APF0001-9	①	APS0001	
1.96	*2	0.29	*5	-	-	-	
6.51	*3	0.80	*7	-	-	-	
2.33	*1	0.27	*4	APF0127-4	-	APS0002	
1.86	*1	0.06	*6	APF0127-4	-	APS0002	
2.91	*2	0.10	*6	-	-	-	
1.14	*1	0.04	*6	APF0007-7	②	APS0001	

開口部区部「窓」となる「袖および欄間付きドア等」の
 熱貫流率と日射熱取得率は
 自己適合宣言書・附属書の値（代表試験体の値）を用いています
 帳票に附属書No.、自己適合宣言書が表示されます

熱貫流率の一部には、ガラスの厚さ・種類（一般・合せ・Low-E膜色等）と
 中空層の厚さの組み合わせにより、中空層の厚さが同じでも熱貫流率が同じには
 ならない組み合わせが存在します ⇒ 詳しくは、
 別紙「熱貫流率が自己適合宣言書 附属書の値と一致しない例」参照ください

熱貫流率の性能値として「仕様値を用いた場合」、
 帳票に附属書No.、区分記号、自己適合宣言書は表示されません

仕様値は申請時に、こちらを添付してください
 添付する書類のリンクは「帳票ダウンロード」ページからダウンロードできます

帳票ダウンロード

戻る 住宅情報を保存

PDF出力用の等級を選択

ZEH+ ZEH 等級7 等級6 等級5
 等級4 等級3 等級2

計算結果のPDFファイルは、以下のボタンからダウンロードできます。

PDFファイルをダウンロード

帳票の「窓・ドアに関する付属資料」には、附属書No.や自己適合宣言書No.が表示されます。
 性能証明としてご使用になる場合は、以下の書類の添付が必要です。ダウンロードしてご利用ください。
 「大部分が透明材料で構成されている開口部（開口部区分「窓」）となる日射熱取得率は、『開口部の仕様別日射熱取得率とYKK AP製ガラス一覧』の値（仕様値）を用いております。
 なお、開口部区分「窓」となる「袖および欄間付きドア等」の日射熱取得率は、自己適合宣言書・附属書の値（代表試験体の値）を用いております。
 詳細は、帳票「窓・ドアに関する付属資料」で確認することができます。

	附属書No.	自己適合宣言書	仕様値
窓	APF0001-9	APS0001	開口部の日射熱取得率
	APF0007-7		開口部の熱貫流率 (窓・框ドア・引戸)
ドア	APF0127-4	APS0002	開口部の日射熱取得率
			開口部の熱貫流率と日射熱取得率 (玄関ドア・引戸)